

# 1月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園  
神戸YMCAちとせ幼稚園

新年あけましておめでとうございます。年末年始はどのように過ごされましたでしょうか。コロナ禍もあり、なかなか遠方の親族と会うことも難しい日々ですが、正月ぐらいは家族だけでなく、祖父母や親戚とも顔を合わすことができた方も多かったかもしれません。久しぶりに会うからこそ、子どもたちの成長を目の当たりにし、心も身体も大きくなったことを実感した親族から「大きくなったね」と声をかけられたことでしょうか。毎日、接していると変化に気が付きにくいですが、1年に1回となるとその変化はとても大きく、親にとってもわが子の成長を振り返るきっかけになったかもしれません。

さて、2学期の終業式に冬休みの過ごし方として3つのお約束を子どもたちとしました。1つめは、「クリスマス日にイエス様のお誕生日をお祝いしてね」。2つめは、「クリスマスやお正月に美味しい料理をいっぱい食べるから、家でゴロゴロしないでお外でいっぱい遊んでね」。そして3つめは、「自分のことは自分でやろうね。それでもまだ力がある人は家族のために使ってね」。さて、子どもたちはどのように冬休みを過ごしていたでしょうか？実際のところ、このお約束は「子どもたちに限らず、自分自身にもあてはまるな」と振り返り、私自身も話した者の責任として実践できるように努めてきました。親は子どもたちが将来困らないようにあれこれと課題を与えたり、指示をしたりしますが、本来子どもたちには平等に成長する力と成長しようとする意欲も持ち合わせています。「学ぶ」の語源は「真似る」とあるように、人の行動や仕草を子どもたちはよく見ています。自分もやってみたい！と思うのは、なんらかのモデルがあって、「真似る」ところからスタートします。そしてやってみて「自分もできた！」という喜びを通じて「学び」となり、自分の力として成長していきます。例えば挨拶がきちんとできない子どもに、「挨拶をきちんとしなさい」という前に、気持ちの良い挨拶を親ができているのか。そちらの方が子どもたちにとっては大きな問題です。最も愛し、信頼している親の姿は、誰よりも子どもたちは見ています。「こうしてほしい」と望むのであれば、直接的にそうさせようとするのではなく、親自身がその様に振る舞うことで、子どもたちが主体的に真似をして、学び、そして成長していくのだと思います。2022年も子どもたちと共に私たちが成長できる大人として1年を歩んでいきたいと思います。

## 【年主題】

『共に喜んで』～すべての歩みの中～

## 【年主題聖句】

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、  
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

(コリント信徒への手紙 I 12章26節)

1月主題 「なかまと ひびきあって」

聖句 「子よ、元気を出しなさい。」

(マタイによる福音書 9章2節)